

2010年11月10日  
学校法人大原学園

## 2012年新卒卒での就職を目指す、 1年制の『ビジネス専攻コース(4月入学)』2期生を募集

～ 来春卒業の大学生らを対象、就職に強い大原が担任制で就職を個別サポート ～

学校法人大原学園(本部:東京都千代田区、理事長:安部 辰志)は、大学・短大・専門学校の卒業生を対象に、新卒卒での確実な就職と、入社後に必要となる実務や専門知識の習得を目指す、1年制のビジネス専攻コース(定員40人)について、2011年春入学の2期生を募集いたします。

### ■就職活動経験者が対象。1年後の民間企業就職を目指す

近年、大学や短大、専門学校を卒業・中退された方で、当学園の全日制の専門課程(主に2年制)に改めて入学する方が増加しています。こうした方の多くは新卒卒での就活に再チャレンジし、希望の就職を実現しています。

しかし、「もっと短期間で就職したい」という声も多く、当学園では就職活動を経験した大学・短大・専門学校の卒業生を対象に、2010年4月より1年制のビジネス専攻コースを新設しました。現在、来春入学の2期生を募集しております。

### ■就職に強い大原が担任制で就職を個別サポート

本コースでは、高い就職実績(※)を誇る当学園独自のノウハウを活かした就職指導・面接トレーニングを入学前の3月から担任制で実施。企業と大原学園の強いつながりを活かした求人紹介や、一人ひとりの適性を踏まえた個別面談など、日々のカリキュラムの中で内定までを担当が個別にサポートします。

また、11月から来年の2月までに入学手続きを完了された方には「就活準備プログラム」として月8回程度、無料で個別就職サポートを実施します。

※専門課程(首都圏)の2010年3月卒業者の就職率は96.6%(就職希望者1,725名中1,667名)。就職者全体のうち74.2%(就職者1,667名中1,238名)が、大手優良企業(上場企業およびその子会社、資本金1億円以上の優良企業など)・病院および公務員への就職者

### ■今年4月に入学した1期生の内定率も70%を突破

なお、昨年に引き続き厳しい就活戦線の中、来春卒業の1年制ビジネス専攻コース・1期生の内定率は、11月1日時点で73.6%となっており(入学者38名中28名)、現在の未内定者についても引き続き、個別の就職サポートを行っております。

<参考: ビジネス専攻コース1期生の主な出身大学>

早稲田大学・法政大学・明治大学・日本大学・専修大学・東洋大学・帝京大学・大東文化大学・東洋英和女学院大学・獨協大学・桜美林大学・武蔵野大学 ほか

報道関係者各位  
プレスリリース

## ■ビジネス実務の知識・スキルも入社前に習得

就職活動と同時に、財務や PC、ビジネスマナーなど、社会で求められる基礎的なビジネス能力の習得にも取り組みます。また、内定後は、大原独自のプレ・キャリア・プログラム(入社準備プログラム)を通じ、内定職種別に、より専門的な知識や実践的なスキルを身につけていきます。なお、内定者ごとに実施するカリキュラムは内定企業へのアンケートに基づき決定されます。

---

## <参考>

### ■ 学校法人大原学園 概要

大原学園は、就職に必要な『仕事力』の獲得および『資格』の取得を支援する専門学校で、「専門課程」と「社会人講座(資格の大原)」の 2 つを柱としています。

本部 : 〒101-8352 東京都千代田区西神田 1-2-10

理事長: 安部 辰志

創立 : 1957 年 東京水道橋に大原簿記学校開校

1979 年 学校法人大原学園設立

基本金: 854 億円(2010 年 4 月 1 日現在)

URL: <http://www.o-hara.ac.jp/>

### ■大原学園 専門課程 概要

高校や大学・短大の卒業生を対象とした全日制の専門学校(一部地域では夜間コースも設置)。『資格』取得に向けた質の高い教育に加え、実社会で必要な『仕事力』が身につく就職指導を徹底的に行います。卒業生は質・量ともに高い就職実績を誇り、企業から高い評価を得ています。

<http://www.o-hara.ac.jp/senmon/>

<主な設置コース(学校により異なります)>

公務員・警察官・消防官/公認会計士・税理士/経理・事務・販売/情報技術・SE・プログラマ/医療事務・医療秘書/保育士・幼稚園教諭/介護福祉士・社会福祉士/スポーツトレーナー/CG・ゲーム・アニメ・Web

## 【本件に関するお問い合わせ先】

学校法人大原学園 学園広報営業本部

プレス担当: 林田・堀

TEL : 03-3237-8711(代)

FAX : 03-3237-7099

E-mail : [press@o-hara.ac.jp](mailto:press@o-hara.ac.jp)